

2025年3月期 第2四半期(FY2024 2Q) 決算概要

2024年11月5日

千代田化工建設株式会社

(証券コード: 6366)

AGENDA:

1. ゴールデンパスLNG および
次期中期経営計画 について
2. 決算ハイライト
3. 損益計算書
4. バランスシート
5. 受注高・受注残高

Appendix

- ・ 主なトピックス
- ・ 完成工事高・受注残高内訳
- ・ 業績推移

エンジニアリング
社会の“かなえたい”を共創する

Enriching Society through Engineering Value

1. ゴールデンパスLNG および 次期中期経営計画 について

ゴールデンパスLNG

- ✓ JVパートナーであったZachry社のプロジェクト離脱を裁判所が最終承認し、正式離脱となった(現地時間8月12日)。
- ✓ 現場工事は、8月から再開済。工事業務の太宗を担っていたZachry社のスコープをCB&I社が引き継いで遂行中。
- ✓ CB&I社とCIC社*による新JV体制下でのEPC契約は、第1系列 と 第2系列/第3系列の二段階に分けて顧客と交渉中。契約締結は年度内に完了予定。合意内容を踏まえ、採算の見直しを実施し、決算に段階的に反映予定。

次期中期経営計画

- ✓ 本年5月に公表予定であったが、ゴールデンパスLNGの状況を踏まえて開示を延期。中・長期的な目線での当社の方向性、戦略を協議中。発表は2025年度期初を予定。

* Chiyoda International Corporation (千代田化工建設の米国100%子会社)

2. 決算ハイライト

- ✓ 前年同期比、各段階利益において増益。
手持ち案件の進捗に加え、タングーLNG(完工済)のマイルストーン達成による追加収益の計上等が利益を押し上げ。
- ✓ 受注は、国内脱炭素関連を中心に、足下で引き合いが旺盛。
下期の受注計上を見込む。
- ✓ 利益進捗度は高いものの、上期は上記の一過性要因があったことや、ゴールデンパスLNGの新JV体制下での契約が未締結であることを踏まえ、通期業績予想は据え置く。

3. 損益計算書

(単位:億円)

	FY2023 2Q	FY2024 2Q	増減	FY2024 通期予想	進捗率
完成工事高	2,717	2,373	△344	4,500	53%
完成工事総利益	177	¹ 224	46	330	68%
完成工事総利益率	6.5%	9.4%	+2.9pt	7.3%	-
販売費・一般管理費	△69	△86	△17	△160	54%
営業利益	108	137	29	170	81%
経常利益	141	173	32	200	87%
純利益*	86	142	55	150	94%
為替レート(円/米ドル)	150	143		150	

1 分野別内訳

分野	FY2023 2Q	FY2024 2Q
エネルギー	65	148
地球環境	112	75
合計	177	224

* 親会社株主に帰属する中間純利益

4. バランスシート

(単位: 億円)

	FY2023 4Q	FY2024 2Q	増減		FY2023 4Q	FY2024 2Q	増減
流動資産	4,044	4,157	113	流動負債	4,122	4,041	△80
現金・預金等	1,021	1,131	111	営業負債*3	3,225	3,360	135
営業資産*1	465	413	△52	工事損失引当金	365	348	△17
JV持分資産*2	1,470	1,499	28	固定負債	87	265	178
固定資産	226	229	3	純資産	61	79	18
総資産	4,270	4,385	116	負債・純資産	4,270	4,385	116
				自己資本	49	64	16
				自己資本比率	1.1%	1.5%	0.3pt

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金

*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋契約負債（未成工事受入金）

5. 受注高・受注残高

(単位:億円)

	FY2024 2Q 受注高	FY2024 2Q 受注残高
エネルギー分野	307	6,001
地球環境分野	385	1,995
合計	692	7,996

【受注残高 主要案件】

	1,000億円 以上	500億円 以上	50億円 以上
エネルギー分野	カタール・NFE LNG	米国・ゴールデンパスLNG	---
地球環境分野	---	インドネシア銅製錬	CO ₂ メタネーション設備 バイオ医薬品原薬製造設備 先端素材生産設備

Appendix

主なトピックス

米国・ゴールドパスLNG 8月より現場工事を再開

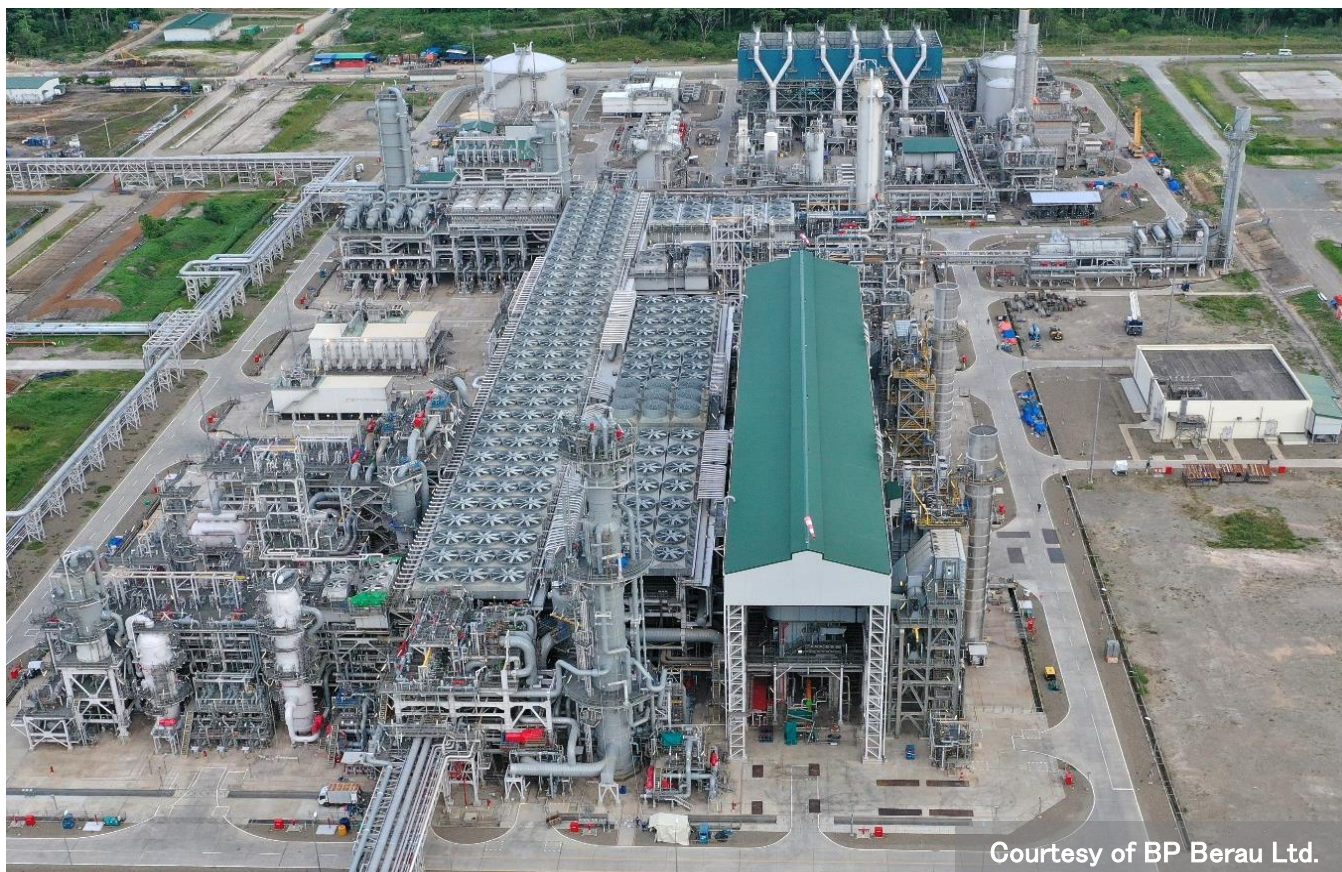


Courtesy of Golden Pass LNG

主なトピックス

インドネシア・タングーLNGがマイルストーン達成

- ✓ 昨年完工後、当初計画を大幅に上回るペースでのLNG生産に貢献。



Courtesy of BP Berau Ltd.

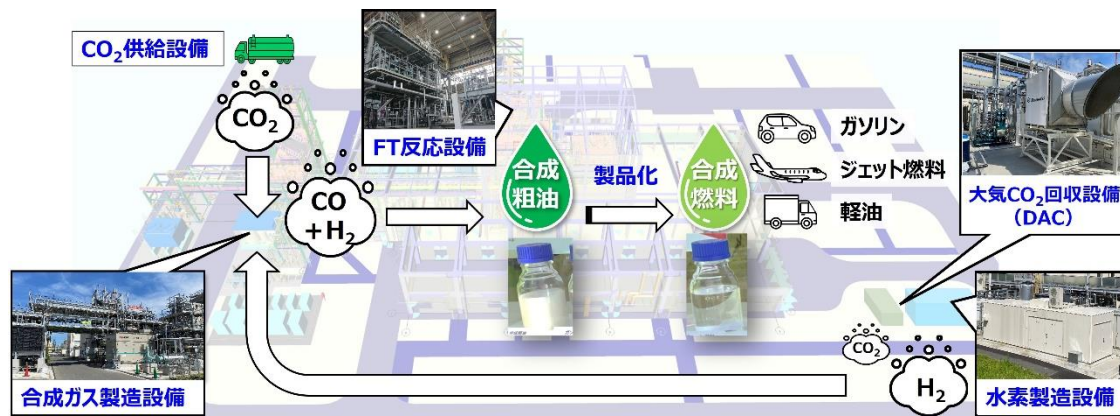
主なトピックス

1BD*¹合成燃料製造実証プラント 建設工事を完工

- ✓ ENEOS(株)がNEDO*²助成事業*³に採択され実施する事業。
当社は、実証プラントのEPC業務を遂行。
- ✓ 将来におけるカーボンニュートラル燃料製造技術の社会実装に向け、
水素とCO₂を原料とした合成燃料プロセスの早期の技術確立に貢献。

【案件概要】

顧客	ENEOS株式会社
当社 スコープ	EPC(設計・調達・建設)
建設地	ENEOS中央技術研究所内 (神奈川県横浜市)
製造規模	1バレル/日
完工時期	2024年6月



合成燃料製造実証プラント全体像 (ENEOS(株)提供)

*1 1 Barrel per Day (生産量1バレル/日)、1バレルは約159リットル

*2 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

*3 「グリーンイノベーション基金事業/CO₂を用いた燃料製造技術開発プロジェクト」

主なトピックス

バイオものづくり^(※)の実証基盤「植物バイオファウンドリ」を整備

- ✓ 2022年度からNEDO助成事業^{*1}として産学連携で取り組む「植物による機能性タンパク質の開発」^(図2参照)の一環として、当社子安オフィス・リサーチパーク内に実証設備を建設中。2025年春の稼働開始を予定。
- ✓ 将来的に様々な企業の実用化開発をサポートする 国内初の「植物バイオファウンドリ」として機能させる予定で、バイオものづくり分野での社会実装に貢献する。

(※)バイオものづくり: 植物や微生物などの生物を用いて物質を生産する技術。原料を化石資源に依存しないため、炭素循環型社会の実現や持続的経済成長に導くものづくりへの変革を期待できる。



図1. 実証設備 鳥瞰図

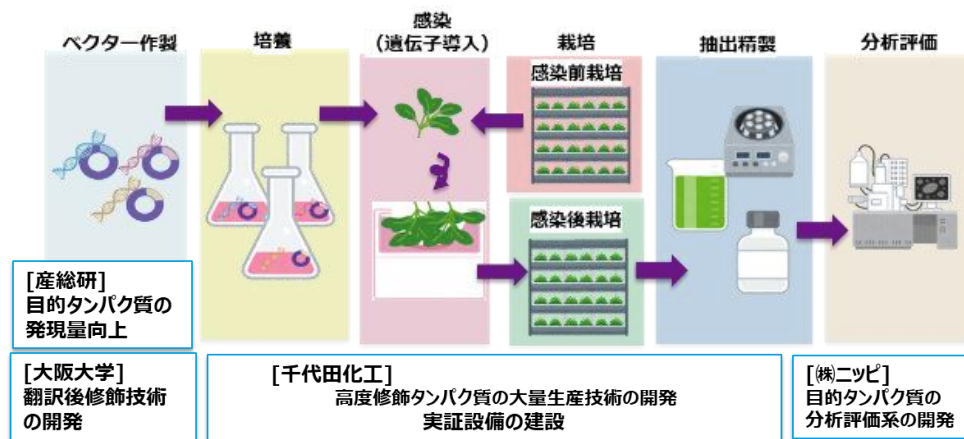


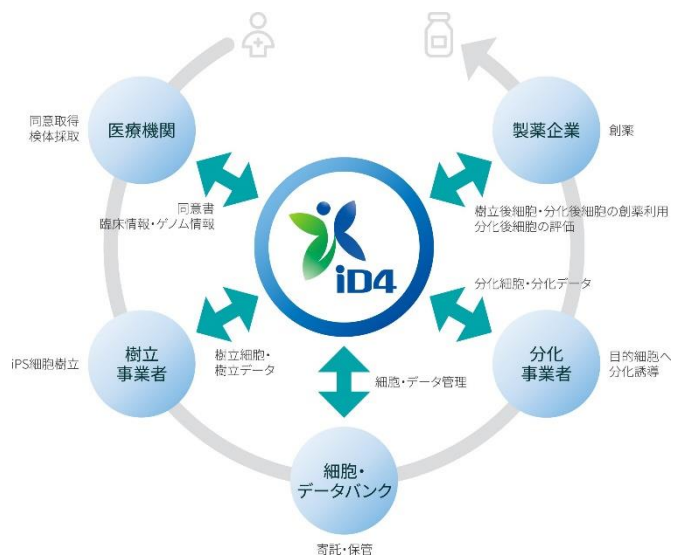
図2. 本事業の開発内容

*1 「カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発」

主なトピックス

◆ 一般社団法人アイディーフォー*1のiPS細胞提供プラットフォームの実証実験に参画

- ✓ 患者～iPS細胞製造機関～製造企業を一気通貫でつなげる「iPS細胞プラットフォーム」を構築し、iPS細胞の産業利用の促進を目指すもの。
- ✓ 当社の細胞に関する経験や知見を活かし、会員企業と共に iPS細胞のデータベース構築や流通経路の最適化を行い、本プラットフォームの事業化を進める。



プラットフォームの全体像

◆ 筑波大学内に細胞培養加工施設を建設完了、運用開始

- ✓ 筑波大学との共同研究事業の一環で、新たな細胞培養加工施設を建設。
名称：TACT (Tsukuba Advanced Cell Therapy Facility)
- ✓ 産学連携によって、再生医療分野において基礎研究から製造支援まで行う「伴走型技術コンサルテーション」サービス(※)を拡大。
- ✓ 今後、iPS細胞由来のがん免疫細胞の製造工程・技術の確立を目的とするプロジェクトに参画予定。

(※) 製品の上市を見越した研究開発から製造プロセス開発、製造支援までを規制やガイドラインに対応させつつ戦略的かつ技術的な解決策を提供する当社の新規サービス事業。



伴走型技術コンサルテーションのイメージ図

*1 2020年8月、アイパークインスティテュート(株)及び三菱商事(株)によって設立。

*2 つくば幹細胞ラボ(筑波大学産学リエゾン共同研究センター内)

完成工事高・受注残高内訳

(単位: 億円)

FY2024 2Q 完成工事高

【分野】

エネルギー	1,494	63%
■ LNG・その他ガス関係	1,322	56%
■ 石油・石油化学	172	7%
地球環境	879	37%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	107	5%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	772	33%
合計	2,373	100%

【地域】

海外	1,951	82%
■ 中近東・アフリカ	1,082	46%
■ 北中南米	120	5%
■ アジア・オセアニア	747	32%
■ その他海外	3	0%
■ 国内	422	18%
合計	2,373	100%

FY2024 2Q 受注残高

【分野】

エネルギー	6,001	75%
■ LNG・その他ガス関係	5,747	72%
■ 石油・石油化学	255	3%
地球環境	1,995	25%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	916	11%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	1,079	14%
合計	7,996	100%

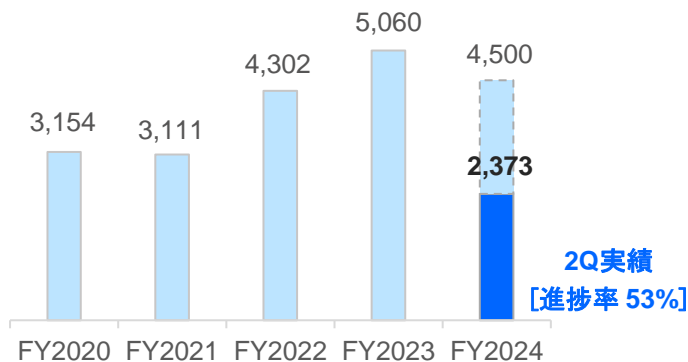
【地域】

海外	6,490	81%
■ 中近東・アフリカ	4,739	59%
■ 北中南米	811	10%
■ アジア・オセアニア	926	12%
■ その他海外	14	0%
■ 国内	1,506	19%
合計	7,996	100%

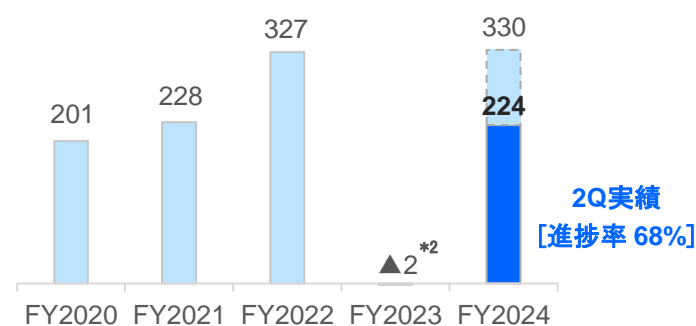
業績推移

(単位:億円)

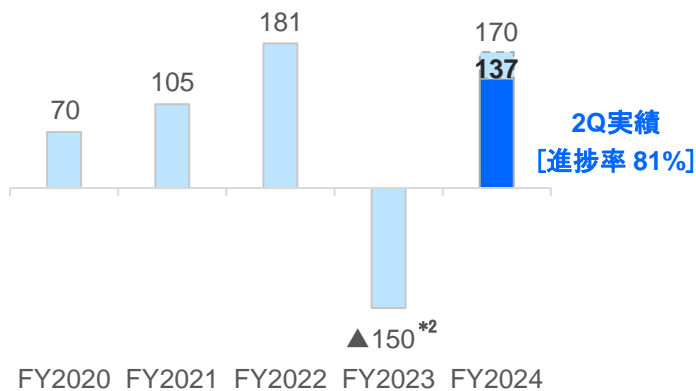
完成工事高



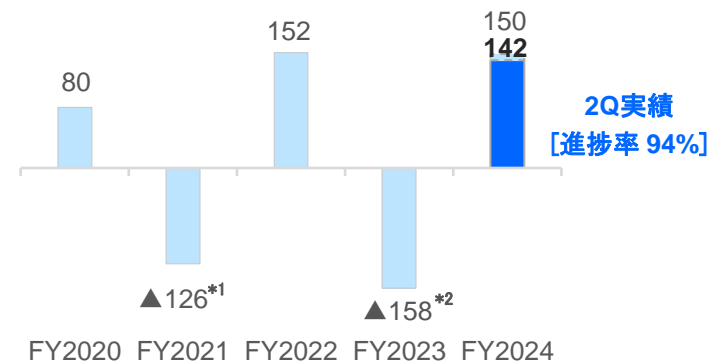
完成工事総利益



営業利益



純利益



*1 特別損失 ▲204億円含む(顧客との和解等によるプロジェクト関連損失)

*2 ゴールデンパスLNGプロジェクトに関連する追加費用▲370億円含む

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

E-Mail : ir@chiyodacorp.com

